



秋田県立博物館 企画展「わくわく科学展」



磁石のN極S極、光の三原色、大気圧、フレミングの左手の法則、・・・大人の方々には聞いた覚えはあるけれど何だったっけ、というような事柄を実験しながら思い出してもらえと思います。小・中学生の皆さんには、少し前に学習したことの復習や今後の予習になるはずです。また、見るだけで科学のおもしろさを感じることができるコーナーも充実しています。実験好きにはたまらない、そうでない方々にも楽しんでもらえる企画展です。ぜひ親子で理科実験や科学情報を楽しんでください。観覧は無料です。

展示期間

平成25年11月10日（日）
～平成26年1月13日（月）

開館時間

9：30～16：00

休館日

月曜日（月曜日が祝祭日の場合
翌平日）12月28日～1月3日



磁力で浮くコマ



3Dマジックミラー



フレミングの左手の法則

秋田県立農業科学館

曲屋でのセカンドスクール再開しました！

8月から約3か月間行われていた、曲屋の茅葺屋根の葺き替え工事が無事終了しました。早速、11月14日には、大仙市立東大曲小学校の3年生29名が訪れ、社会科の学習を行いました。

各学校でのセカンドスクールの利用も再開しました。新しく生まれ変わった曲屋を会場とした様々なイベント等を企画していきますので、ぜひお楽しみに。



平成25年度秋田県家庭教育フォーラムを開催しました

ー 大人が支える！インターネットセーフティの推進 ー

このフォーラムは、子どもたちの健全なインターネット利用環境の仕組みづくりを進める「大人が支える！インターネットセーフティの推進」事業への理解を深める目的で開催されました。

全体を通して、インターネットセーフティの目指す方向性などについて、参加者の皆様とともに考える契機となりました。

〔日時〕平成25年10月19日（土）10時～16時

〔会場〕秋田県立博物館講堂ほか 〔参加者〕85名（うち、民間の参加・協力：6社17名）

●基調講演

「大人が支えよう！インターネットセーフティと秋田の子どもたち」

講師：坂元 章（お茶の水女子大学教授）

坂元先生は、子どもたちを取り巻くインターネット事情が急激に変化し、活用と安全の両立が大切になってきた現在、保護者の役割は大きくなっていると話されました。そうした背景を踏まえ、秋田県と子どもネット研との協働による取組の先進性、子どもの発達段階に応じた保護者の段階的な利用支援の必要性などについてお話いただきました。

●報 告

「秋田の子どもたちのネット事情と地域・家庭での取組」

報告者：高橋 大洋（「子どもネット研」事務局）
森川 勝栄（県教育庁生涯学習課社会教育主事）

生涯学習課から、秋田県内の子どもたちのインターネット利用状況の報告、高橋さんからは、取組の一つである「地域サポーター養成講座」の進捗状況の報告、また、家庭での取組のポイントについての解説がありました。その後、来場者との情報交流が行われました。

●パネルディスカッション

「秋田がめざす！インターネットセーフティの可能性」

コーディネーター：坂元 章

パネリスト：笹井宏益（国立教育政策研究所）、
浦野弘（秋田大学）、吉田奨（ヤフー株式会社）、
加藤寿一（県P連会長）、戸部裕隆（県教育庁生涯学習課）

「大人が支える！インターネットセーフティの推進」は、PTA団体等、研究者、事業者、行政による協働が大きな特徴です。ここでは、各方面の当事者に提案・報告をいただき、メディアと子どもの心理発達および教育実践、生涯学習政策の専門家等による解説を加えながら、事業展開のポイントとその将来展望を語る機会となりました。



●その他の催し

- * ケータイ・スマホミニ安全教室 [3回、各20分]
- * 実機体験・展示コーナー [携帯型ネット機器の展示・体験]
- * パネル・資料展示 [県事業の概要、関連資料等の展示]
- * 特別展「あきた大鉄道展」の鑑賞（主会場行事参加者）

平成25年度 秋田県生涯学習奨励員協議会 活動発表研究会

11月20日（水）に生涯学習センターで、秋田県生涯学習奨励員協議会活動発表研究会が行われ、県内各地から、約120名の生涯学習奨励員が参加しました。

生涯学習奨励員は、地域住民の学習活動の支援や、学習ボランティアのリーダーとして活躍している人たちで、地域に根差した様々な活動をしています。

活動発表では、次の3地区の事例の紹介がありました。

○小坂町

「幼少期からの生涯学習～体験活動を通して～」

○男鹿市

「0歳から高齢者まで 心に届くよみきかせを
～地域での読書推進活動～」

○横手市

「蔵のあるまち
～観光ガイドを通した生涯学習活動～」

参加者からは、「各地の具体的な取組が紹介され、大変参考になった。」との感想があり、日頃の活動の交流の場となりました。

なお、今回発表した奨励員活動は今後「行動人」ホームページで紹介していきます。

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/koudoubito/index.php>

